

相談部 とは？

こどもと保護者の「困った」を
一緒に考え、一緒に支えます。

大田原市教育支援センター相談部は、平成29年4月に開設し、今年で開設10年となりました。当センターは、小・中学生の不登校やいじめ、子育てなど、こどもの学校生活に関する総合的な相談窓口を開設しています。



「困った子」ではなく、 「困っている子」

「こどもが学校に行かなくなってしまい困っている」、「学校でのトラブルが絶えずどうにかしてほしい」、「家で学校の課題をやらず好きなことばかりしている」など、大人から見て周囲を困らせるような「困った子」として映る子もいるかもしれません。

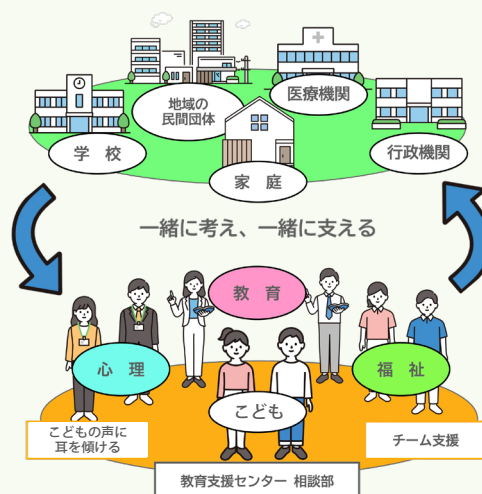
しかし、その子の側に立って気持ちや事情を理解しようとしていくと、実はその子自身が周囲を頼ったり、助けを求めたりすることができず「困っている」ことが多くあります。私たちは、そのようなこどもたちの声に耳を傾けることを第一に考えています。

そして、抱えている問題を軽減することで、こどもたちが少しでも気持ちが楽になったと思えるように『一緒に考え、一緒に支える』ことを大切にしています。



それぞれの専門性を活かした チーム支援

保護者や学校の先生、地域の方々から相談を受け、スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーなど、教育・心理・福祉それぞれの専門性を持つ職員によるチーム支援を行っています。



開設10年を迎えて～2つの相談事業を実施～

毎年、最も多い相談は、不登校に関することです。これまでに不安や悩みを相談できる人が周囲におらず、孤立してしまっている保護者からの相談が多くありました。また、家で過ごすこどもたちのもとへ訪問する「アウトリーチ支援」を通して、まずは家から一歩踏み出すことのできる場所を必要としているこどもたちとの出会いがありました。

そのような経緯を経て、同じような事情を抱える保護者の方同士で話ができる「保護者の会」と、開設時間内であれば自由に入出りできる「オープンスペースひまわりる～む」の2つの相談事業を実施しています。



